

10月号

ハニ養だより



青森県立八戸第二養護学校
令和8年9月18日

「地域とともに」

校長 西里 俊文

八戸合同庁舎の整備事業が進められ、尻内にある合同庁舎では、工事中の安全対策として高い囲いが設置されています。

ビルなどの大きな建物を解体し、その場所に新たな建物を建設する際は、通行する方の安全のために高い塀で囲いがなされます。そこには工事期間や施工企業の名前などが掲げられていますが、そのほかは白い壁のまま、少し殺風景になっていることが多いものです。

今回、工事を請け負っている企業様より「殺風景になりがちな現場の囲いを、子どもたちの作品で明るく彩りたい」というありがたいご依頼をいただきました。子どもたちの作品を地域の方々や工事現場の方に広く見ていただける機会は、本校が取り組んでいる地域交流の趣旨にも合致し、何より子どもたちの自信や意欲につながると考え、喜んで協力させていただくことといたしました。

展示する作品は、日頃の授業の中で制作したものから選ぶことにしました。廊下や教室に飾られている作品の一つひとつ目を通しながら選定いたしました。本当は全員の作品を展示したい気持ちでいっぱいでしたが、壁面の広さに限りがあるため、小学部・中学部や学年のバランスを考慮して選ばせていただきました。

選ばれた作品は、プロのカメラマンに撮影していただき、ご縁のあるアーティストの方に壁面のレイアウト（構成）を工夫していただきました。子どもたちの個性あふれる作品それぞれの魅力を活かした、明るく楽しく、見る人が元気になるような素晴らしいデザインに仕上がっています。

展示場所は、八戸児童相談所前の囲い部分となります。本校のマスコット「ハチにゃん」も一緒に壁面を飾っています。お近くをお通りの際は、ぜひご覧ください。

